

芸術文化の本質を求めて

01 平成30年
11月15日(木)



「ことばをデザインする仕事」

小林 章

Akira Kobayashi
タイプディレクター

02 11月16日(金)



「人に夢を与えるもの」

中村 信喬

Shinkyō Nakamura
人形師

05 12月6日(木)



「伝統への敬意と挑戦」

田中 健太郎

Kentaro Tanaka
棟梁

06 12月14日(金)



「ものの見方を変える呪文」

長谷川 祐子

Yuko Hasegawa
キュレーター

「もの」から「こころ」へ、質を重視する社会にとって、生活や産業に芸術文化の成果を活かしていくことが重要と考えられています。しかし、現実にはそれを職業として成立させていくための知見や実績が不足しており、十分な社会的理解が得られていないという課題があります。本授業では、絵画や工芸、デザインやキュレーションという行為を、社会が必要と認めるために如何に取り組むべきかについて、さまざまな事例を通じて学びます。表現の専門にとらわれず、創造的行為を社会に展開していく上で、共通に必要なとなる発想法、思考法、実践方法について理解を深めます。

03 11月22日(木)



「見えるものと 見えないもの」

清河北斗

Hokuto Kiyokawa
造形作家

04 11月29日(木)



「色が無い建築なんて!」

エマニュエル・ムホー

Emmanuelle Moureaux
建築家/デザイナー

07 平成31年
1月11日(金)



「地方都市の風景おこし」

西村幸夫

Yukio Nishimura
都市工学者

開催時間:
18:15~19:45
(開場 18:00)

会場:
高岡キャンパス講堂 (高岡市二上町180)

講師のプロフィールは、
WEBでご確認ください。



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



講義テーマ

「ことばをデザインする仕事」

講師

小林 章

Akira Kobayashi

ドイツ・モノタイプ社 タイプディレクター
Type Directors Club (New York) 会員
多摩美術大学客員教授



欧文書体の国際コンペティション本文書体部門で2度のグランプリを獲得して2001年よりドイツ在住。有名な書体デザイナーであるヘルマン・ツァップ氏やアドリアン・フルティガー氏と共同での書体開発を行ったほか、欧文と和文とのバランスを考えた日本語書体「たづがね角ゴシック」ではディレクションを担当。欧米やアジアで講演やワークショップを行うほか、世界的なコンテストの審査員も務める。著書に『欧文書体』、『欧文書体2』、『フォントのふしぎ：ブランドのロゴはなぜ高そうに見えるのか?』、『まちモジ』がある。

開催日時：

平成30年11月15日(木)

18:15～19:45(開場18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部

(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町180

お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp

GEIBUN



千々石ミゲル



壽童子



夏燕

講義テーマ

「人に夢を与えるもの」

- 1957年 福岡県に生まれる 福岡県在住
二代目人形父衍派、人間国宝 林駒夫、
陶芸家 村田陶苑に学ぶ
- 1989年 日本工芸会正会員認定
- 1997年 第15回伝統工芸人形展文化庁長官賞受賞
- 1999年 第46回日本伝統工芸展高松宮記念賞受賞
- 2001年 第48回日本伝統工芸展鑑査委員(以降4回)
- 2006年 福岡県文化賞(創造部門)
- 2010年 第1回金沢世界工芸トリエンナーレ招待出品
- 2011年 ポーラ伝統文化財団優秀賞受賞、
ローマ ラルーチェ展招待出品
- 2012年 金沢21世紀美術館「工芸未来派」招待出品
- 2014年 福岡市文化賞受賞、日本橋三越個展
- 2015年 福岡三越個展、ニューヨーク マンハッタン
MAD美術館(工芸未来派展出品)
- 2016年 伊勢神宮「ぬくもりの表現一次世代へつなぐ
心と技」招待
- 2017年 ライオンズクラブ国際大会モニュメント制作
福岡空港内
薬師寺食堂完成 日本の百選に選ばれ
「薬師寺幻影」奉納
- 2018年 日本橋三越特設画廊個展「TIME TRAVELER」

パブリックコレクション

東京国立近代美術館、金沢21世紀美術館、
岐阜県現代陶芸美術館、バチカン(バチカン市国)、
熱海MOA美術館に作品収蔵

公益社団法人日本工芸会理事
日本工芸会西部支部常任幹事
日本人形玩具学会副理事長
博多織デベロップメントスクール講師



講師

中村 信喬

Shinkyō Nakamura

人形師

開催日時：

平成30年 11月16(金)
18:15~19:45(開場18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部
(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町180

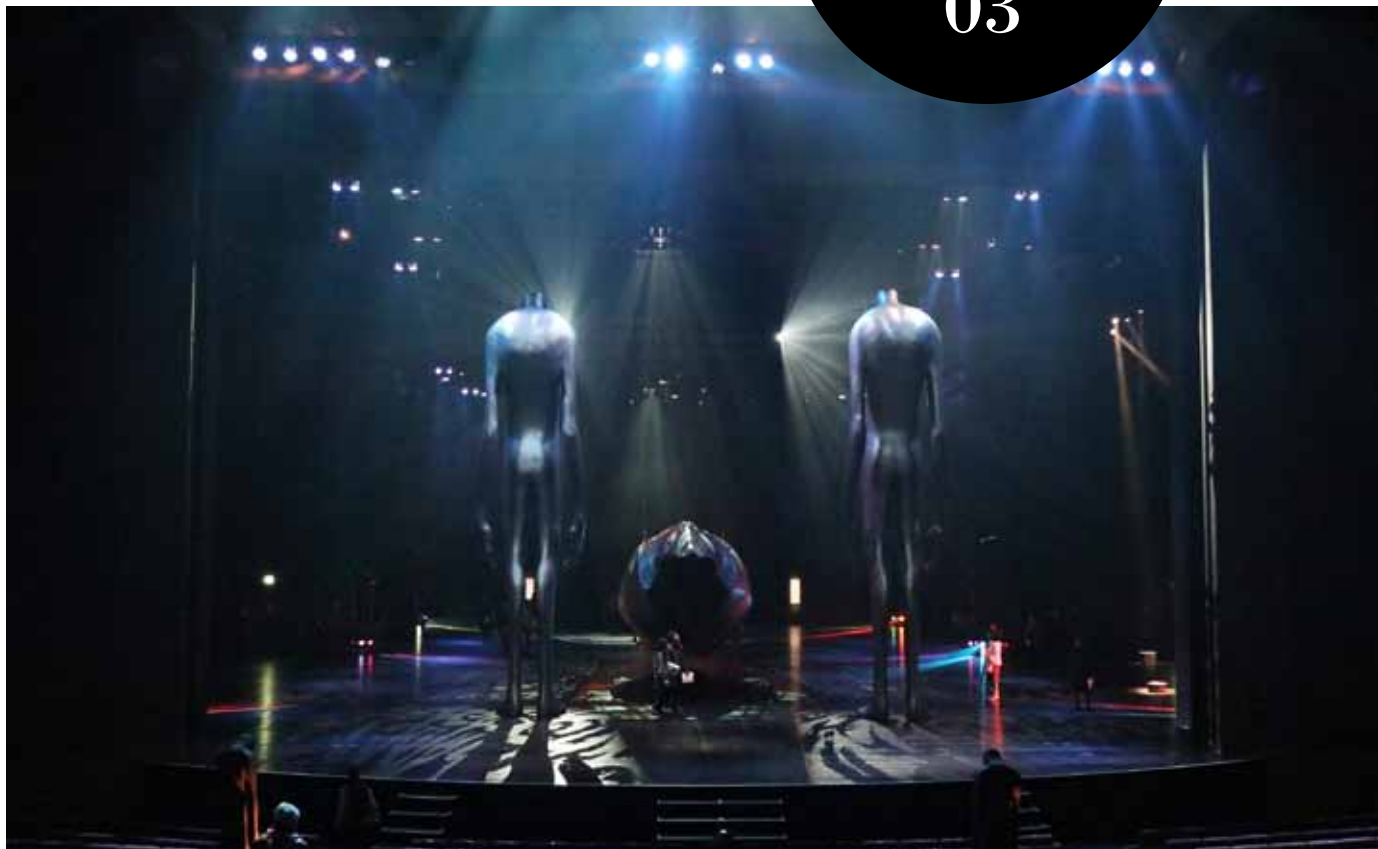
お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp

GEIBUN



舞台の上の美術館Ⅱ「巨艦と虚無」

講義テーマ

「見えるものと 見えないもの」

開催日時：

平成30年 11月22日(木)

18:15～19:45(開場18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部
(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町180

お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp



講師

清河北斗

Hokuto Kiyokawa

造形作家

STUDIO/HOT 代表

1974年 富山県黒部市生まれ。東京芸術専門学校(TSA)卒業後、現代美術制作活動を経て東京池袋(株)アレグロに勤務。2008年富山県黒部市に転居後「STUDIO/HOT」設立。

生命体的フォルムのシリーズ制作を経て、近年は主に大型の作品を手掛けるなど、機械と生身が融合した世界観や、生命進化の過去から未来へのプロセスをテーマに制作を進める。

主な略歴、ジャパンエキスポ2011(パリ)、個展「仮様」(下山芸術の森発電所美術館)、舞台の上の美術館Ⅱ「巨艦と虚無」(オーバード・ホール)、アートフェア東京2018等。

GEIBUN



写真上：「巣鴨信用金庫志村支店(2011)、写真左：「数字の森」国立新美術館(2017)

講義テーマ

「色がない建築なんて！」

開催日時：

平成30年11月29日(木)
18:15～19:45(開場18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部
(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町180

お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp



講師

エマニュエル・ムホー

Emmanuelle Moureaux

建築家/デザイナー

フランス生まれ。1996年より東京在住。

emmanuelle moureaux architecture + design 主宰。

東京の“色”と街並が成す複雑な“レイヤー”と、日本の伝統的な“仕切り”から着想を得て、

色で空間を仕切る「色切/shikiri」コンセプトを

編み出す。色を大胆に取り入れた建築、空間デザイン、

アートなど多様な作品を創造し続けている。

代表作に巣鴨信用金庫の建築設計、

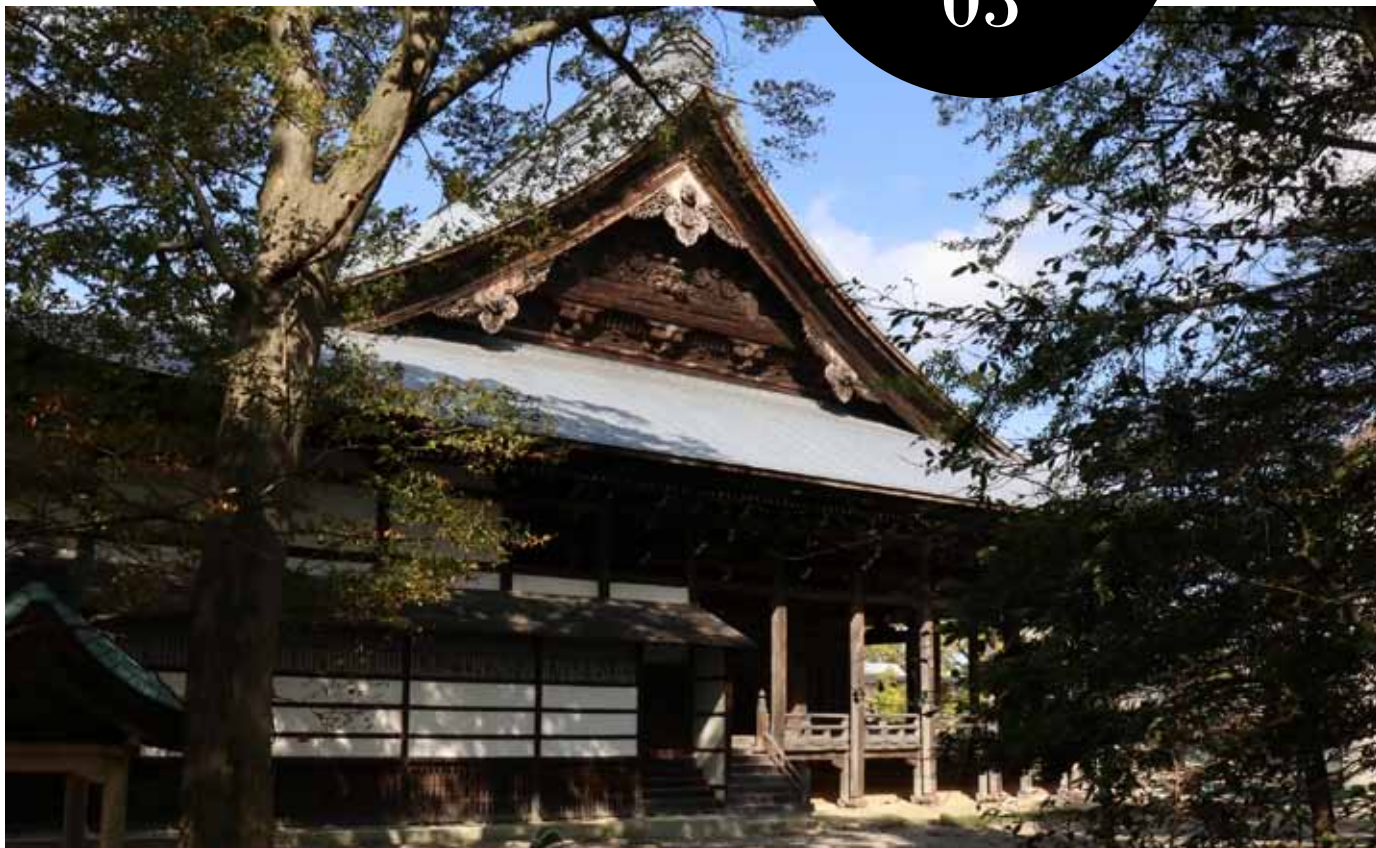
ABC Cooking Studioの空間デザイン、

100 colors シリーズ、UNIQLO や ISSEY MIYAKEの

アートインスタレーション、国立新美術館での

「数字の森」などがある。東北芸術工科大学准教授。

www.emmanuelle.jp



写真上：勝興寺 本堂、写真左下：木組み模型、写真中下大工道具、写真右下：法被

講義テーマ

「伝統への敬意と挑戦」

開催日時：

平成30年 12月6日(木)
18:15~19:45(開場 18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部
(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町 180

お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp



講師

田中 健太郎

Kentaro Tanaka

棟梁／田中工匠代表

1948年、富山県生まれ。1967年、18歳より父健一・宮大工白井宏に師事し、宮大工として伝統ある井波大工の匠の技を継承。2002年度「とやまの名匠」認定。2005年富山県知事表彰。2008年厚生労働大臣表彰。2010年春の叙勲「瑞宝単光章」受章。

重要文化財勝興寺保存修理工事棟梁、高岡御車山をはじめとする富山県の祭屋台の保存修復を手がける。技能検定建築大工1級、職業訓練指導員(建築科)、高岡建築高等職業訓練校元校長。



写真(2点共):「深みへ-日本の美意識を求めて」展(2018)



講義テーマ

「ものの見方を変える呪文」

開催日時：

平成30年 12月14日(金)

18:15~19:45(開場18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部
(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町180

お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp



講師

長谷川 祐子

Yuko Hasegawa

キュレーター

東京都現代美術館 参事

東京藝術大学大学院

国際芸術創造研究科 教授

京都大学法学部卒業、東京藝術大学大学院修了
金沢21世紀美術館を立ち上げ、現在東京都現代
美術館参事、東京藝術大学大学院国際芸術創造
研究科教授。上海ロックバンド美術館アドバイ
ザリー委員。犬島「家プロジェクト」アーティ
スティックディレクター。最近の展覧会は、
New Sensorium (ZKM)、Kishio Suga
Situations (Pirelli HangarBicocca, Milan) (い
ずれも2016年)。2017年10月よりポンピ
ドゥ・センター・メッスにて、'Japanorama:
NEW VISION ON ART SINCE 1970' をキュレー
ション。第7回モスクワ現代美術国際ビエン
ナーレ: Clouds ⇄ Forests キュレーター。
2018年フランス パリにてジャポニスム
2018の一環として「深みへ - 日本の美意識を
求めて」をキュレーション。



著作・編集を行った書籍の一部：『都市の風景計画』『日本の風景計画』『町並みまちづくり物語』『まちの見方・調べ方』『世界文化遺産の思想』『西村幸夫風景論ノート』

講義テーマ

「地方都市の風景おこし」

開催日時：

平成31年1月11日(金)

18:15～19:45(開場18:00)

会場：

富山大学芸術文化学部
(高岡キャンパス)講堂

高岡市二上町180

お問い合わせ：

芸術文化学部 総務課 学務チーム

Tel. 0766-25-9130

tkyomu1@adm.u-toyama.ac.jp



講師

西村 幸夫

Yukio Nishimura

都市工学者

神戸芸術工科大学大学院 教授

工学博士

1952年、福岡市生まれ。東京大学都市工学科卒、同大学院修了。明治大学助手、東京大学助教授を経て、1996年より東京大学大学院教授、この間、2011年より2013年まで東京大学副学長、2013年より2016年まで先端科学技術研究センター所長。海外では、アジア工科大学助教授（バンコク）、MIT 客員研究員、コロンビア大学客員研究員、フランス国立社会科学高等研究院客員教授などを歴任。2018年より神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科教授を務める。

専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画など。工学博士。

日本イコモス国内委員会委員長、横浜市都市美審議会会長、和歌山県景観審議会会長、千代田区景観まちづくり審議会会長、倉敷市景観審議会会長、日本ユネスコ協会連盟未来遺産委員会委員長、金沢市文化・景観アドバイザーなどをつとめる。世界遺産記念物会議（ICOMOS）元副会長。